



衆議院議員 かど博文 活動報告

かどTOPICS

新型コロナウイルスの数ある緊急対策の中で注目の2つを紹介します

1. 経済産業省の緊急経済対策「持続化給付金」

感染症拡大により、特に大きな影響を受ける事業者の皆様に対して、事業の継続を下支えし、再起の糧としていただくため、**事業全般に広く使える給付金**です。法人に**最大200万円**、個人事業主に**最大100万円**給付

<支給対象>

- ◆ 前年同月比で売上が50%以上減少している方
 - ◆ 中堅企業、中小企業、小規模事業者、個人事業者
- また、医療法人、農業法人、NPO法人、社会福祉法人など会社以外の法人

例えば・・・

2019年の年間売上1,200万円(毎月100万円の売上)、しかしコロナの影響で

2020年1月100万円、2月70万円、3月50万円、4月40万円と落ち込んだと仮定いたします

この給付金の**支給対象は“売上が前年同月比で50%以上減少”**とありますので、

2020年4月の売上(40万円)と前年4月の売上(100万円)を比較すると**60%減少**ということで**今回対象**

そこで支給額を算出すると・・・

2019年の年間売上1,200万円から、**売上前年同月比で一番落ち込んでいる**4月の売上40万円に

12カ月をかけた480万円を引くと、720万円となるため**最大200万円の給付金を受け取ることが可能**

補正予算成立後、1週間程度で申請受付、5月の中旬頃には給付される予定です。

持続化給付金



検索



詳細は 持続化給付金 で検索

2. 国民一人あたり10万円を支給いたします

国民の皆様には外出を自粛し、人と人との接触を最大限削減することで日本全体が一丸となって感染拡大に取り組んでいただいております。

本で行われた自由民主党の政務調査会にて、様々な活動が制約されることとなる皆様への支援として、

一律に一人あたり10万円の給付を行うことを決めました。

門博文が所属する議員連盟「日本の未来を考える勉強会」でも、前例にとらわれない「国民一人当たり10万円の現金給付」等に対する提言を各所へ働きかけておりました。

その結果、議員連盟「日本の未来を考える勉強会」の声も伝わったことと思います。



議員連盟「日本の未来を考える勉強会」にて発言する門博文